

蝶ヶ岳・常念岳 (北アルプスの大パノラマ)

山行日 : 2018年7月21日(土)~23日(月) 晴れ

行程 : 21日(土) 上高地 6:00—徳沢 8:10/8:20—長埴山 13:05/13:30—蝶ヶ岳 15:05
—蝶ヶ岳ヒュッテ(泊)15:20
22日(日) 蝶ヶ岳ヒュッテ 6:30—蝶ヶ岳 7:30—常念岳 13:50/14:20—常念岳小屋(泊)15:55
23日(月) 常念小屋 6:00—大滝ベンチ 9:30/9:40—一ノ沢(ヒエ平)10:50=
タクシー ほりで一ゆ四季の郷(温泉入浴後昼食)
高速バス 四季の郷 13:55=新宿西口 19:00

費用 : 38000円程度

1日目

日本列島は異常気象により、連日体温越え 猛暑の中の山行となりました。

竹橋駅前の毎日新聞東京本社前を 前夜 22:30 発 上高地バスターミナル 5:30 着 バスを降りると何かを羽織らないと居られません。さすが 1500m の高地 朝晩は涼しそうです。

ターミナルは既に登山者があふれていました。

早速朝食をとり身支度を整え出発です。河童橋で朝日に輝く焼岳 前穂・奥穂の雄姿を見て梓川沿いを徳沢まで 2 時間 順調でした。

そこから樹林帯の急坂 長埴山を目指しました。夜行バスで睡眠不足の人が殆ど 遅れ始めました。樹林帯を過ぎると 太陽が降り注ぎ私たちの体力を容赦なく奪っていきます。

そんな時 慰めてくれたのが高山植物です。

キヌガサソウ、ゴゼンタチバナ、マイズルソウ、ハクサンフウロ、クルマユリ、クロユリ、シナノキンバイ、イワギキョウ、ハクサンシャジン、ニッコウキスゲ、アキノキリンソウ
カラマツソウ、ウサギギク、コメツツジ、ニッコウキスゲ、シシウド、シモツケソウ等々



【蝶ヶ岳：キヌガサソウの群落】

蝶ヶ岳ヒュッテは最盛期とも重なり1枚の布団に3人で寝るとの事。個室が空いていた為15000円を支払い利用することにしました。この小屋は水も貴重で1リッター200円です。

眺望は抜群です。日の入は19:00頃 夜は満天の星空 天の川も綺麗でした。

2日目

早朝4時起床 皆で瞑想の丘へ 4:30過ぎ雲海の上のご来光を清々しく拝みました。

6:30 広大な北アルプスを左手に見ながらの稜線歩きです。砂礫の中にツメクサの丸い塊が可憐に咲いていました。目指す常念岳は手前の蝶ヶに隠されていて山小屋からは見えません。今日は時々ガスがかかったり サッと晴れたりしています。

そのうちすれ違った登山者より ライチョウの親子が歩いているとの情報に 胸が高鳴りました。 やがてハイマツ帯と登山道の間を 人間を恐れないライチョウが5羽の子を連れて歩く様に感激しました。

常念岳は岩稜帯の浮石注意です。 経験の浅い私は大ブレーキをかけてしまいました。

山頂は360度の大パノラマ 槍ヶ岳も正面に大きく見えてきました。迫力です！歩いた道を振り返り感無量です。常念小屋は1枚の布団の上に寝袋で 冷たい水も十分に使うことが出来 快適でした。食堂のベランダ正面には槍ヶ岳の勇姿が聳えています。

3日目

皆さん早く起床しましたので 1時間早い6:00に出発しました。常念乗越から川沿いに 1200m程下るコースです。胸突き八丁までは急峻な狭い登山道 丸木橋を数か所 残雪もあり、冷たい沢水を飲むことが出来ました。沢沿いの高山植物も咲き乱れており 心地良くコースタイムで下山出来ました。

一ノ沢(ヒエ平)からタクシーで ほりで一ゆ四季の郷へ移動、温泉で汗を流し 昼食後 買物を済ませ 13:55発 新宿西口 19:00着 予定通り全員無事 帰宅出来ました。

リーダーの故郷 おらが山の案内に任せて安心の私達 どうもお疲れさまでした。

サブリーダーの痒い所に手が届く サポートに助けられ完歩出来ました。ありがとうございました。



【常念岳頂上：奥穂のパノラマをバックにして】